

第37回（令和4年度）

商業経済検定試験問題

〔経済活動と法〕

解答上の注意

1. この問題のページは2から16までです。
2. 解答はすべて別紙解答用紙に記入しなさい。
3. 問題用紙の表紙に受験番号を記入しなさい。
4. 文字または数字で記入するもの以外はすべて記号で答えなさい。
5. 選択問題Ⅰ〔会社に関する法〕・選択問題Ⅱ〔企業の責任と法〕は2分野のうち1分野を解答すること。2分野を解答した場合は、選択問題すべてを無効とします。
6. 計算用具や六法全書などの持ち込みはできません。
7. 制限時間は50分です。

※ 試験終了後、問題用紙も回収します。

① 次の文章を読み、問いに答えなさい。

近年、ペットを飼う人が増えており、とくにコロナ禍においては、おうち時間のなかでペットと一緒にくつろごうとする人が増え、ペットの人気の高まっている。その一方で、ペットのふん害が後を絶たず、地域や行政などは、飼い主のマナー違反に頭を抱えている。

人が人や地域と関わりをもって社会生活を営むとき、日々の生活が平穏・円滑に秩序を保って営まれていくためには、(a)社会の誰もが守らなければならないルールが必要になる。このルールには、法・道徳・慣習・宗教上の戒律などがある。

ペットのふん害に対して、山梨県のA市は、「A市まちをきれいにする条例」を制定して、飼い犬・飼い猫のふんの放置の禁止に関して自治体が改善を勧告し、さらに措置命令をして、これに従わないときには過料が科せられる場合があるとの罰則を設け、ふん害対策を行っている。

このように、条例や命令など、(b)法は、ほかとは異なる特質をもっている。また、法はさまざまな基準から分類し体系づけることができる。基準の一つとして、条文の形に書きあらわされた成文法と、(c)明確な条文の形に書きあらわされていない不文法に分類できる。不文法は複雑な現代社会の秩序を維持するために、成文法だけでは不十分なところを補う役割をもっている。

社会が日々変化しているなか、社会のしくみにあわせて、法が社会の秩序を維持する役割を果たしていることを忘れてはならない。A市の場合、今回の取り組みによってふん被害は減少したとのことであるが、一方でふん害対策は飼い主の良心に任せられている部分もあるので、飼い主は最低限のマナーを守って飼育することが望まれている。

問1. 下線部(a)を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 社会規範 イ. 行動理念 ウ. 社会秩序

問2. 下線部(b)に記された特質の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 長い間のならわしや風習として、一般的に認められているという特質
イ. 善悪を判断する基準として、個人の価値観に依存するという特質
ウ. 国家権力によって定められ、守ることを強制されるという特質

問3. 下線部(c)の具体例として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 規則 イ. 判例法 ウ. 条約

② 次の文章を読み、問いに答えなさい。

高校生のAは、近所を散歩していたところ河川敷にある管理事務所の入り口に、「敷地内でバーベキュー・花火を禁止します」と書かれた看板をみつけた。Aは(a)これを法としてみた場合、文言通りに解釈すると「敷地内でバーベキューや花火は禁止されているのだ」と解釈した。

一方、法全体との関連を考え、論理に従って法を解釈する方法があり、これを論理解釈という。例えば、この看板の場合、Aはこの河川敷でたき火をしてもよいのか考えてみた。(b)これを法としてみた場合、たき火もバーベキューや花火のように、火気の使用による危険があるとして、その趣旨をくんで敷地内でたき火をすることも禁止ではないかとする解釈ができると考え、Aはこういう危険な行為はやめようと思った。

問1. 下線部(a)のような法の解釈を何というか、漢字2文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問2. 下線部(b)を論理解釈としてみた場合、どのように分類されるか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

ア. 反対解釈 イ. 縮小解釈 ウ. 類推解釈

③ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

私たちの社会生活は、法律的にみると権利と義務の関係で成り立っている。この関係を法律関係という。そこで、社会生活が秩序正しく営まれるためには、権利者が無制限に権利を行使することは許されず、(a)公共の福祉に適合するように、信義に従い誠実に権利を行使しなければならない。また、義務者も責任をもって義務を果たさなければならない。

公共の福祉に適合しているかどうか争点となった「宇奈月温泉事件」の事例があり、その概要は次のとおりである。

温泉会社のX社は、源泉から引湯管ひきゆかんを通して温泉を引いていた。Aの購入した土地の一部に、その温泉の引湯管が通っていた。Aはその引湯管の撤去に莫大な費用がかかることに目をつけ、X社に対して撤去を求めた。Aは、引湯管の撤去に応じられないときは、自分の購入したすべての土地を高額な価格で買い取るように要求した。裁判所の判決では、(b)正当な範囲を逸脱した権利の行使であるとして、Aの要求を退けた。

問1. 下線部(a)の説明として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

ア. 社会の向上や発展を目的とした社会全体の利益
イ. 人間が人間として当然もっている基本的な権利
ウ. 公の秩序または善良な風俗に反する行為

問2. 下線部(b)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

ア. 権利・義務の主体 イ. 権利の濫用 ウ. 治外法権

4 次の文章を読み、問いに答えなさい。

商品を購入する売買契約のように、自分の意思にもとづいて権利・義務を発生させる行為を法律行為という。法律行為には(a)自分のしようとする行為の意味や性質について正常に判断できる能力が必要となり、この能力のない人が行った法律行為は無効となる。しかし、この能力は誰にでも備わっているわけではない。

民法では、判断力の不十分な人が不利な取引をしないようにするために、一定の人々については画一的に法律行為が一人ですることができる資格がないものとして保護する制度をもうけている。このような人々を制限行為能力者と呼び、未成年者、被補助人、被保佐人、(b)成年被後見人の4種がある。

高齢化社会がすすむなかで、認知機能が低下して日常生活や社会生活に支障をきたす人が増えている。ここでは、高齢の父親がいるAを事例として制限行為能力者についてみる。

Aは本人の判断能力の状態により二つの制度があることを知った。一つは、(c)本人の判断能力が不十分になった場合に備えて、自分の生活や療養看護、財産管理に関する事務を担当し後見をする人に代理権を与える制度である。もう一つは、現に判断能力の不十分な状態にある本人について、本人や家族の請求により、判断能力の状態に応じて、裁判所が適任と認める者をそれぞれの保護者として、補助人、保佐人、成年後見人に選任する制度である。

例えば、父親Bが、現に判断能力の不十分な状態にあり、裁判所から被補助人に該当すると判断された場合は、補助人のAの同意なしで行った預金の管理や不動産の処分など、特定の法律行為は取り消すことができることがわかった。そこで、父親Bが一人で不動産取引をしたと想定してみると、取引の相手方はその取引が取り消される不安があるために、1か月以上の期間を定め、補助人のAに対して催告することができることがわかった。そして、(d)もし取引の相手方が催告して、その期間内に、補助人のAから確答がなかった場合は、この取引はどうなるのか、民法で調べてみることにした。

問1. 下線部(a)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 権利能力 イ. 行為能力 ウ. 意思能力

問2. 下線部(b)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 軽度の精神上的障がい、判断能力が不十分な人
イ. 精神上的障がい、判断能力を欠く常況にある人
ウ. 精神上的障がい、判断能力が著しく不十分な人

問3. 下線部(c)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 任意後見制度 イ. 法定後見制度 ウ. 三審制度

問4. 本文の主旨から、下線部(d)の結論として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 制限行為能力者側は、この取引を認めたことになり、売買契約は成立する。
イ. 制限行為能力者側は、この取引を認めたことになるが、売買契約は成立しない。
ウ. 制限行為能力者側は、この取引を認めたことにならず、売買契約は成立しない。

5 次の文章を読み、問いに答えなさい。

あの人の財産、あの会社の資産というように、自然人や法人は、権利の主体として財産を支配しており、この支配を通して経済生活が繰り広げられている。これらの支配されている財産は、権利の客体といわれ、その中心をなすものが物である。

物とは、有体物をいう。有体物は無体物に対する概念で、空間の一部を占める有形的なものであり、無体物は空間の一部を占めない無形的なものである。しかし、(a)無体物であっても、人が支配・管理することができ、取引の対象となるので、法律上、物として扱われるものもある。

物は、いろいろな観点から分類され、物の種類として分類すると、不動産と動産、特定物と不特定物に分けることができる。また、物と物の関係でみると、物と物との間には、特別な関係がある場合があり、(b)主物と(c)従物、元物と果実に分けることができる。さらに、果実は、天然果実と(d)法定果実に分けることができる。

問1. 下線部(a)の具体例として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 熱 イ. 電気 ウ. 光

問2. 下線部(b)と下線部(c)に分類される物の組み合わせとして、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. (b)金庫 (c)鍵
イ. (b)乳牛 (c)牛乳
ウ. (b)畑 (c)じゃがいも

問3. 下線部(d)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 物の個性を問わず、種類や数量に着目して取引された物
イ. ある物が他の物をうみ出した場合に、うみ出す側の物
ウ. 物の使用の対価として受け取る金銭その他の物

⑥ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

物権とは、ある一定の物を、他人からの影響や干渉を排除して直接に支配し、利用できることを内容とする権利である。このように、(a)物権は、他人を排除する強い権利であるから、その種類や内容は法律が定め、個人が勝手にそれと違う物権を作ることはできない、とされている。

民法に定められている物権は、所有権、用益物権、担保物権、占有権などがある。このうち所有権は、法令の制限内で物を自由に使用し、収益し、処分するというように、どのような手段でも全面的に物を支配することのできる権利である。しかし(b)民法では、第209条から238条に相隣関係を規定しており、隣接する土地の所有権との間の利益の調整をはかったり、所有権に制限を加えたりしている。

例えば、他人の土地に囲まれていて、公道に出ることができない土地の所有者Aは、公道に出るために、他人の土地の通行が必要になるため、(c)その土地を囲んでいる他人の土地を一定の制限のもとに通行している。これは民法が相隣関係において、所有権の制限を加えた事例である。

また、建築基準法や土地収用法などの特別法による所有権の制限もある。

問1. 下線部(a)のような原則を何というか、漢字4文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問2. 下線部(b)に記された相隣関係の具体例として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 重要文化財は、所有者であっても自由に処分できない。
- イ. 農村の人々は、他人の山林に入って伐木・採草をすることができる。
- ウ. 建物を建築する際には、境界線から50cm以上の距離を保たなければならない。

問3. 下線部(c)を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 囲繞地いじょうち
- イ. 袋地
- ウ. 公地

7 次の文章を読み、問いに答えなさい。

2021年11月に、人気漫画のキャラクターを描いたデコレーションケーキを無許可で販売したとして、自営業者が書類送検される事件があった。SNSを通じて顧客の指定したシーンを無断で描いてケーキにしたということである。私的利用のためなら、著作物を複製することも許されているが、その範囲を大きく逸脱した行為である。

これは、知的財産権の一つである(a)著作権が侵害された事例である。知的財産権とは、発明やアイデアを守る権利で、創作した知的財産を支配し、その経済的な利益を独占できる権利である。

また、知的財産権は、著作権のほかにもさまざまな産業財産権(工業所有権)があるので、ここではそれらについてもみってみる。

一つ目は、(b)人の知覚により認識できるもののうち、文字、図形、記号、立体的形状もしくは色彩またはこれらの結合、音その他政令で定めるもの(標章)であり、これを行政機関に登録をすると、登録の日から10年間独占して使用できる権利である。

二つ目は、物品の形や構造についての、実用的な産業上の新しい考案であり、これを行政機関に登録すると、出願の日から10年間独占して製造、販売などができる権利である。

三つ目は、(c)物品の形状、模様もしくは色彩またはこれらの結合について美感をおこさせる創作であり、これを行政機関に登録すると、出願の日から25年間独占して使用できる権利である。

知的財産には、さまざまな種類があり、また、どのような知的財産がうまれるか予想できないので、新たな知的財産に適した法的保護をうみ出す必要があることも意識しなければならない。

問1. 下線部(a)の保護期間として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. わが国では、一部の例外を除いて、著作者の生存中および死後50年間であり、映画については作品の公表後50年間である。
- イ. わが国では、一部の例外を除いて、著作者の生存中および死後50年間であり、映画については作品の公表後70年間である。
- ウ. わが国では、一部の例外を除いて、著作者の生存中および死後70年間であり、映画については作品の公表後70年間である。

問2. 下線部(b)に記された行政機関はどこか、漢字3文字で正しい用語を記入しなさい。

問3. 下線部(c)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 商標権
- イ. 意匠権
- ウ. 実用新案権

8 次の文章を読み、問いに答えなさい。

Aは、ある地方の郊外に広大な土地を所有している。Aが所有しているこの土地は、10年前にAが父親との(a)贈与契約によって取得したものである。この土地は、最寄りの駅からとても遠く、人里離れた不便な場所であり、これといった特徴もない。

ある日、Aのもとへ、不動産業者を名乗るBが訪ねてきた。Bは、「Aさんが所有している土地を買い取らせてほしい。あの土地の周辺は、今後、栄える見込みもなく、地価が下がり続けることは確実です。維持費の負担も大変でしょう」とAに言い、続けて「今すぐにでも売却したほうがお得です。手続きも簡単に済み、売却代金もすぐにお支払いします」と言った。Aは、この土地を所有し続けても維持費の負担が大きくなると思うようになり、売却を検討することにした。

実は、Aの所有する土地の周辺一帯が、大規模な土地区画整理事業計画の区域内にあり、今後、地価が確実に上昇することをBは知っていた。そのため、BはAをだまして土地を安価で買い取り、他人に高値で売却しようと考えていたのである。

後日、Bは再びAを訪ね、土地の売却をあらためて依頼した。(b)AはBにだまされていることに気が付かずに、土地のすべてを安価で売却する意思表示を行い、売買契約を結んでしまった。

数か月後、Aは売却した土地の周辺一帯で大規模開発が行われており、地価が上昇していることを知った。AはBにだまされていたことに気が付いた。AはBに連絡し、土地の返還を求めたが、すでに(c)その土地は事情を知らないCに売却され、Cの名義で土地の登記がされていた。

Aは納得ができず、法律の専門家に相談した。法律の専門家は、(d)AがだまされてBに売却してしまった土地がどうなるのか、教えてくれた。

問1. 下線部(a)を契約の性質から分類した場合、どのような組み合わせになるか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 諾成契約・双務契約・有償契約
- イ. 諾成契約・片務契約・無償契約
- ウ. 要物契約・双務契約・無償契約

問2. 下線部(b)のような意思表示を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 錯誤による意思表示
- イ. 強迫による意思表示
- ウ. 詐欺による意思表示

問3. 本文の主旨から、下線部(c)に記された登記を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 保存登記
- イ. 移転登記
- ウ. 抹消登記

問4. 本文の主旨から、下線部(d)の結論として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. AとBの売買契約は取り消すことができるが、善意無過失の第三者Cに対しては契約の取り消しを主張することはできず、土地の返還請求はできない。
- イ. AとBの売買契約は無効であり、善意無過失の第三者Cに対しては契約の取り消しを主張することができ、土地の返還請求ができる。
- ウ. AとBの売買契約は取り消すことができないが、善意無過失の第三者Cに対しては契約の取り消しを主張することができるため、土地の返還請求ができる。

⑨ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

Aは会社勤めで部長の立場にあり、まもなく定年を迎える。Aは定年退職後、沖縄県の離島に移住することが夢であった。Aの息子夫婦は、Aに対して(a)「もし父さんが病気をしないで無事に定年を迎えることができれば、沖縄県の離島への旅行をプレゼントする」と言って旅行のプレゼントを約束した。

Aは定年後、息子夫婦からプレゼントされた沖縄へ旅行に行った。Aは旅行をしたことで、さらに離島へ移住したいという思いが強くなった。旅行後Aは、沖縄の不動産業者を訪ねて、最適な住宅を探すことにした。不動産業者に希望条件を伝えると、不動産業者が所有するいくつかの住宅を紹介された。実際に見学してから購入を考えたいと思い、Aは不動産業者と高速フェリーで離島を訪ねた。Aは最初に紹介されたX島の雰囲気がとても気に入り、X島の住宅を購入することにし、不動産業者と売買契約を締結し、購入代金を銀行振り込みですぐに支払った。

Aは、購入した住宅周辺の状況を確認するために、再度X島を訪れた。すると、Aが購入した住宅の隣地にある大きな樹木がAの土地に傾いて、今にも倒れそうになっていることに気がついた。Aは台風も近づいているので、(b)隣地の所有者であるBに「私の土地に樹木が倒れないように対処してください」とお願いした。

その後、X島に台風が上陸し、Bの土地の大きな樹木がAの土地に倒れてしまった。Aは、Bに「もうすぐこの土地に引越しをするので樹木を撤去してください」とお願いした。しかし、再三のお願いにもかかわらずBは樹木を撤去してくれなかった。そのため、Aは弁護士に相談することにした。すると弁護士はAに、「Bさんに樹木の撤去をするように、裁判所に請求手続きをすることができます」と言ってくれた。Aは弁護士と契約を結び、(c)委任状を作成して着手金を渡した。弁護士からは、「裁判所の判決で樹木を撤去する命令が出ているにもかかわらず、Bさんが樹木を撤去しない場合には、(d)Bさんのかわりに業者に依頼して樹木を撤去させ、その撤去にかかったすべての費用をBさんに負担させる強制執行を裁判所に請求します」と言って手続きをすすめた。しかし、強制執行に着手する直前、BはAに対し、「金銭面の都合がついたので、今すぐに撤去します」と言って謝罪をし、樹木を撤去してくれた。

問1. 下線部(a)のような条件を何というか、漢字2文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問2. 下線部(b)のような物権的請求権を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 妨害予防請求権 イ. 妨害排除請求権 ウ. 返還請求権

問3. 下線部(c)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 請負人が一定の仕事を完成させることを約束する契約書のこと
イ. 他人に依頼されて自己の名義の使用を認めたことを証明する書類のこと
ウ. 他人に法律関係の処理を任せる代理権を与えたことを証明する書類のこと

問4. 下線部(d)のような強制執行を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 間接強制 イ. 代替執行 ウ. 直接強制

10 次の文章を読み、問いに答えなさい。

Aの勤めている会社では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて以来、在宅勤務の頻度が8割、出勤が2割の状況が続いている。Aは在宅勤務にも慣れてきたが、日中一人でパソコンと向き合っているのはとても負担である。

Aは、犬や猫などの動物が好きである。Aは一人暮らしのため、犬や猫を飼育することをためらっていた。しかし、長引く在宅勤務で日中も自宅にいることが多いので、癒しを求めて、猫を飼育することを検討した。Aは、猫の飼育に慣れている親友のBに相談することにした。

BはAに、「(a)野生の犬や猫などを引き取ったり、捨ててある物を拾ったりする場合など、所有者のない動産を占有した者はその所有権を取得することができるよ。でもペットショップの方が希望の猫と出会える確率が高いと思うよ」と言い、さらに、猫を借りて体験飼育をすることができるペットショップがあることを教えてくれた。

AはペットショップX店で、とてもかわいらしいミヌエットという猫に一目ぼれした。Aはこの猫をとても気に入り、借りて飼育することにした。(b)AがX店から猫を借りたのは、7月5日の午前11時であり、レンタル期間は10日間の契約になっている。Aは、民法上では期間満了の日時がいつになるのか調べることにした。なお、期間に関する特段の定めはなかった。

その後、Aは、期間満了前に借りた猫をX店に返した。AがX店と交わしたレンタルの契約は、猫の体験飼育ができるという内容であり、Aが20,000円をX店に支払って猫を借り、契約期間内に猫を返すという契約である。AがX店と締結した契約は、(c)当事者の一方が相手方に目的物を使用・収益させることを約束し、相手方が賃料を支払うことと、契約終了時に目的物を返還することを約束することによって成立する貸借契約である。

その後Aは、猫を飼育できると思ったので、X店でミヌエットの子猫を購入し、癒されながら在宅勤務をしている。

問1. 下線部(a)を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 埋蔵物発見 イ. 遺失物拾得 ウ. 無主物の帰属

問2. 本文の主旨から、下線部(b)の期間満了の日時として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 7月15日の24時に満了する。
イ. 7月14日の11時に満了する。
ウ. 7月14日の24時に満了する。

問3. 下線部(c)に記された貸借契約を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 使用貸借 イ. 消費貸借 ウ. 賃貸借

11 次の文章を読み、問いに答えなさい。

私たち個人や企業などは、さまざまな契約を締結している。契約は、本人どうしの間で行われるのが原則であるが、必ず本人がしなければならないとすると不便である。そのため、本人にかわって契約を締結することが認められており、これを代理の制度という。代理には、(a)法律によって誰が代理人になるかや代理権の範囲が決められている代理と、本人が任意に代理人を選び一定の範囲の代理権を与える代理がある。

また、代理権のない者が、本人の代理人であると偽って代理行為をした場合、これを無権代理というが、この行為は、本人が追認しない限り、本人に効力は生じない。そのため、契約の相手方は無権代理人に責任を追及することになる。しかし、(b)本来は無権代理であるが、本人と無権代理人との間に特別な関係があるため、相手方に対して代理権が存在するような外観を呈している事情があると認められる場合には、その外観を信じた相手方を保護して、本人との間に有効な代理があったのと同じ効果が認められることもある。

[事例]

X新聞販売店の店主は、従業員Aを先月末に解雇した。店主の代理人として新聞代金を集金していたAは、勤務態度が悪く、再三注意されているにもかかわらず直らなかったため解雇はやむを得なかった。しかし、Aは店主を逆恨みし、X新聞販売店に損害を与えようと企てた。Aは解雇された際にX新聞販売店の印が押されている白紙の領収証を数枚もっていた。そこでAは、先月まで集金していた新聞購読者のBを訪ねた。Bは、AがX新聞販売店を解雇されていた事実を知らずに、従業員であると信じて新聞代金をAに支払った。AはX新聞販売店の領収証をBに渡した。

X新聞販売店の店主は、Bの新聞代金の支払いが確認できなかったため、電話をして確認した。するとBは、「従業員のAさんに新聞代金を支払いました。領収証ももらいました」と店主に言った。店主は「Aは先月末に解雇しました。すでに当店の従業員ではありませんので、もう一度新聞代金を支払っていただきたい」とBにお願いした。Bは納得がいかなかった。この場合、(c)BはX新聞販売店に、もう一度新聞代金を支払わなければならないのかどうか、消費生活センターに相談することにした。なおBは、善意無過失である。

問1. 下線部(a)のような代理を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 任意代理 イ. 法定代理 ウ. 復代理

問2. 下線部(b)のような無権代理を何というか、漢字2文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問3. 本文の主旨から、下線部(c)の結論として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. Aの行為は代理権授与の表示による無権代理であり、BはAの外観を信ずべき正当な理由があるとはいえないため、Bは再び新聞代金を支払わなければならない。
- イ. Aの行為は与えられた権限を越えた越権行為であり、BはAの権限の範囲を確認しなかったため、Bは再び新聞代金を支払わなければならない。
- ウ. Aの行為は代理権消滅後の無権代理であり、BはAの外観を信ずべき正当な理由があるといえるため、Bは再び新聞代金を支払わなくてよい。

12 次の文章を読み、問いに答えなさい。

2020年度施行の改正民法により、時効の内容が一部見直された。時効とは、ある事実状態が一定期間続いた場合に、これを尊重して、法律上の権利関係として認める制度である。

時効には2種類あり、まずは、今回改正された時効についてみる。この時効においては、一定の期間、権利を行使しないことによって、権利を主張できなくなってしまうものである。改正前は、請求する権利の期間が、旅館の宿泊料金や飲食店の飲食代金などの債権の場合は1年、弁護士や公証人の職務に関する債権の場合は2年などのように統一されていなかった。しかし、改正後は請求する債権の内容にかかわらず、債権者が権利を行使することができることを知った時から5年間と、権利を行使することができる時から10年間の二段構えに統一された。

このように時効には、期間があるが、(a)時効によって権利を得たり失ったりするには、一定の事実状態が続いていることが必要であり、その継続を妨げるような事情があれば、その時からあらためて時効の期間を計算することになる。例えば、飲食店で客のAが飲食代金を後払いにして、Aが支払わないまま半年が過ぎたとする。半年後に飲食店がAに未払いの代金を請求し、Aが「もう少し待ってください」と言った場合、その未払いの事実を認めた時点から再び未払い代金の時効期間が始まることになる。

さらにもう一つの時効についてみる。これは、(b)一定の期間、権利を継続して事実上行使する者に、その権利を認めるという時効である。

例えば、BとCは隣りあって土地を所有しているとする。互いの土地の境界線は杭を打って示している。ある日、Cが自己所有の土地を売るために測量したところ、Bが畑として使用している土地の一部がCの土地であることが判明した。CはBに「あなたの土地の一部は私の土地です。境界の杭を打ち直して、私の土地を返してください」と言った。(c)Bはこの土地について、どのような扱いになるのか、民法を調べることにした。なおBは、15年間、何の疑いもなく平穏かつ公然とその土地を使用しており、善意無過失であるといえる。

今回、2種類の時効の制度をみてみたが、時効の制度は、社会生活を送るうえで大切なことであるので、しっかりと理解しておきたい。

問1. 下線部(a)を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 時効の完成猶予 イ. 時効の更新 ウ. 時効の援用

問2. 下線部(b)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 取得時効 イ. 消滅時効 ウ. 公訴時効

問3. 本文の主旨から、下線部(c)の結論として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. Bは善意無過失であり、平穏かつ公然と10年以上Cの土地の一部を使用していたが、もともとCの土地であり、この土地の所有権はBにあると主張することができない。
- イ. Bは善意無過失であり、平穏かつ公然と10年以上Cの土地の一部を使用していたため、時効の制度により、この土地の所有権はBにあると主張することができる。
- ウ. Bは善意無過失であり、平穏かつ公然と10年以上Cの土地の一部を使用していたが、時効の制度では20年の期間が必要のため、この土地の所有権はBにあると主張することができない。

13 次の文章を読み、問いに答えなさい。

Aは、中古住宅を購入して5年が経つ。このたび、子どもが生まれることもあり、念願だった新築一戸建てに買い替えることにし、不動産業者を訪ねた。Aは、間取りや外観などの設計が自由にできる注文住宅プランを選んだ。Aは不動産業者が所有する土地をいくつか見学した。数か所回ると希望に一致する土地が見つかったため、Aは購入を決めた。不動産業者は、「土地の購入代金の一部を手付金としてお振込みください」とAに伝えた。Aは不動産業者と別れた後、指定された口座に200万円を振り込んだ。(a)Aは支払った手付金が高額なので、Aまたは不動産業者が契約を解除する場合について、民法を調べておくことにした。

Aは土地購入代金の残金と建物の建築代金を銀行で住宅ローンを組んで借り入れることにした。銀行員は「(b)Aさんの購入する土地と建物に対して担保物権を設定します。これは、もしAさんが住宅ローンを返済できない場合に、土地と建物を競売にかけて、その売却代金から当行が優先して弁済を受けることができる権利のことです」とAに伝えた。その後、銀行の審査も通ったので、不動産業者と土地の売買契約と建物の建築に関する契約を締結した。

Aは、現在住んでいる中古住宅を購入した際のリフォームのことを思い出した。リフォームの際に設置した食器洗浄乾燥機が正常に作動しなかったのである。(c)これは、食器洗浄乾燥機を設置した業者の債務不履行であると憤り、修理を依頼したことを思い出す。

Aは今回購入する新築住宅は、目に見える不具合はないと思っている。しかし、(d)売買の目的物自体に外からではわからない契約内容の不適合があった場合、売り主に対して履行の追完や代金の減額、損害賠償の請求や契約の解除などの権利は、不適合を知ってからいつまでに売り主に通知しなければ行使できなくなるのか、念のため調べておくことにした。

問1. 下線部(a)の結果として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 契約の履行に着手する前であれば、Aが支払った手付金を放棄するか、不動産業者が受け取った手付金をAに返還すれば、契約を解除することができる。
- イ. 契約の履行に着手する前であれば、Aが支払った手付金の倍額をさらに支払うか、不動産業者が受け取った手付金をAに返還すれば、契約を解除することができる。
- ウ. 契約の履行に着手する前であれば、Aが支払った手付金を放棄するか、不動産業者が受け取った手付金の倍額をAに返還すれば、契約を解除することができる。

問2. 下線部(b)に記された担保物権を何というか、漢字2文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問3. 本文の主旨から、下線部(c)に記された債務不履行を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 履行遅滞 イ. 不完全履行 ウ. 履行不能

問4. 下線部(d)について、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 契約内容の不適合を知ってから、1年以内に通知しなければ、権利の行使はできなくなる。
- イ. 契約内容の不適合を知ってから、3年以内に通知しなければ、権利の行使はできなくなる。
- ウ. 契約内容の不適合を知ってから、通知期限の定めはなく、いつでも権利の行使ができる。

14 次の文章を読み、問いに答えなさい。

AとBは、お互いに将来の夢についてたびたび相談し合う旧知の仲である。困ったときには、お互いに助け合うことを約束していた。Bの夢はラーメン店を開業することである。AはBがラーメン店を開業することを応援しており、開業する際には何でも協力するという約束をしていた。

Bはいよいよ、長年の夢であったラーメン店を開業することになった。開業資金は、今までの貯蓄だけでは足りないで、金融機関から借り入れるとのことであった。その際に、金融機関の担当者から人的担保が必要だと言われたようである。Bは申し訳ないという顔をして、Aに「あなたに(a)主たる債務者である私と連帯して債務の履行を保証する人的担保をお願いしたい」と言った。

Aは、主たる債務者と連帯して債務の履行を保証する人になって、もし債務者本人が返済できないと、人間関係が壊れることもあると聞いたことがある。例えば、Bのラーメン店が不調で、金融機関への返済が滞った場合、Aには(b)催告の抗弁権がないため、Bにかわって金融機関に債務を弁済しなければならない。また、検索の抗弁権も行使することができない。仮に、(c)AがBにかわって金融機関に債務を弁済した場合には、Aが金融機関に弁済した額の返還をBに請求することができる権利がある。しかし、Bの店が不調の場合、Bから回収することは難しいと思った。その際、AはBに対して債権を有することになるが、(d)Aが一方的にBに対する債権を放棄して、Bの債務を消滅させることもあるかもしれないと覚悟しておく必要がある。Bとは長い付き合いであり、信用できる人物でもある。Aは開業する際には何でも協力するという約束もしている。AはBを信じて契約書にサインをした。

Aは、Bがラーメン店を開業して数か月後に訪ねてみた。すると、Aの心配には及ばず、Bのラーメン店は行列ができるほどの繁盛店になっていて、マスコミにも取り上げられるようになった。Bから話を聞くと、この調子でいけば、金融機関からの借り入れは予定よりも早く完済できそうだという。Aは、夢をかなえたBのことを、勇気があり、うらやましいと思った。

問1. 下線部(a)のような人的担保を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 保証債務 イ. 連帯債務 ウ. 連帯保証債務

問2. 下線部(b)の説明として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 債務者には強制執行しやすい財産があるということを証明して、まず主たる債務者の財産に対して強制執行するように債権者に主張する権利のこと。
イ. 債権者が主たる債務者に請求しないで、保証人に請求してきた場合、まず主たる債務者に請求するように債権者に主張する権利のこと。
ウ. 債権者と債務者の合意で、債務を金銭ではなく、かわりに同額相当の物を引き渡して本来の債務を消滅させることができること。

問3. 下線部(c)を何というか、漢字2文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問4. 下線部(d)のような債務の消滅を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 免除 イ. 相殺 ウ. 更改

選択問題 I〔会社に関する法〕

① 次の文章を読み、問いに答えなさい。

手形や小切手は、一定の金額の支払いを請求する権利をあらわした有価証券である。しかも、それは(a)法律で記載することを要すると定められた事項(必要的記載事項)が記載されなければ無効とされる有価証券であり、証券の記載によって権利の内容が決められる有価証券である。さらに、その権利の発生・変更・消滅について、すべて証券によってなされることが必要である。

また、手形や小切手は、企業にとって支払いまたは信用の手段として、あるいは、国際取引における取り立ての手段としても利用される。このうち、約束手形は、期限付き債務の支払い手段として利用される。一方、小切手は、満期日の記載をすることができず、つねに(b)一覧払いとされるので、即時払いの手段として利用される。

問 1. 下線部(a)を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 電子記録債権 イ. 要式証券 ウ. 不完全有価証券

問 2. 下線部(b)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 令和×年○月△日というように、特定の日に支払われるべきもの
イ. 支払いを求めて小切手が呈示された日から、一定の期間経過後に支払われるべきもの
ウ. 支払いを求めて小切手が呈示されたときに支払われるべきもの

② 次の文章を読み、問いに答えなさい。

会社法に基づいて設立された法人を会社という。会社は、株式会社と、(a)持分会社という二つの類型に分けられる。

ここでは、株式会社の設立手続きについてみる。株式会社を設立する際には、まず発起人が(b)会社の根本規則を記載した書面を作成しなければならない。そして、会社の設立手続きの進め方には、発起人が設立時に発行する株式の全部を引き受ける方法と、(c)発起人が設立時に発行する株式の一部を引き受けるだけで、残りの株式を引き受けてくれる株主を募る方法の2種類がある。設立手続きの最後に、設立登記がなされると、会社は法人として成立する。

問 1. 下線部(a)の内容として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 合名会社・合資会社・合同会社という3種類がある。
イ. 指名委員会・監査委員会・報酬委員会を置く会社である。
ウ. 子会社の株式取得価額の合計額が、子会社の総資産額の半分以上である。

問 2. 下線部(b)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 約款 イ. 定款 ウ. 商号

問 3. 下線部(c)を何というか、漢字2文字を補って正しい用語を完成させなさい。

選択問題Ⅱ〔企業の責任と法〕

① 次の文章を読み、問いに答えなさい。

会社員のAは、(a)休日に駅前の路上で見知らぬ女性から「紫外線に関するアンケートに教えてください」と声を掛けられた。女性に連れられて近くの喫茶店に入ると「あなたは、もっと美しくなれます」と言われ、40万円の美容器具の購入を勧められた。

Aは、今すぐには40万円も用意できないため断ろうとしたが、女性から「(b)商品代金を毎月2万円ずつ、20回に分けて支払う方法がある」と言われ、月に2万円であれば支払えると思い、その場で売買契約を結んでしまった。しかし、Aは帰宅してから冷静になって考えると、自分には必要ないと思うようになった。Aは調べた結果、(c)Aが結んだような売買契約や訪問販売による売買契約などの場合、契約書を受け取った日から一定の期間内であれば、無条件で契約を解除できる制度があることを知った。Aはこの制度を利用して売買契約を解除することにした。

問1. 下線部(a)のような販売方法を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

ア. キャッチセールス イ. アポイントメント・セールス ウ. ネガティブオプション

問2. 下線部(b)のような販売方式を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

ア. 試用販売 イ. 連鎖販売 ウ. 割賦販売

問3. 本文の主旨から、下線部(c)を何というか、カタカナで正しい用語を記入しなさい。

② 次の文章を読み、問いに答えなさい。

近年、働き方改革が叫ばれるようになり、労働者に保障されている年次有給休暇の取得や、男性の育児休暇の取得が奨励されるようになった。

わが国では、(a)常時10人以上の労働者を使用している事業所は、労働時間や賃金、その他労働条件に関する具体的細目を定める規則類によって労働契約の内容を示すことが法律によって定められている。そこには、年次有給休暇や育児休暇制度などについても記載することになっている。

労働者と使用者は、(b)労働者が使用者の指図に従って働くことを約束し、使用者がそれに対して賃金を支払うことを約束する契約によって成り立つ関係である。労働者と使用者は対等な立場であるからこそ、働き方改革が叫ばれてきたのである。従来、働きすぎといわれた日本人にとって、仕事と生活のバランスを考えるよい機会であるといえるだろう。

問1. 下線部(a)を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

ア. 労働協約 イ. 就業規則 ウ. 事務管理

問2. 下線部(b)の労務の種類を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

ア. 雇用 イ. 請負 ウ. 委任

経済活動と法解答用紙

得点

	問1	問2	問3
1			

	問1	問2
2		解釈

	問1	問2
3		

	問1	問2	問3	問4
4				

	問1	問2	問3
5			

	問1	問2	問3
6			主義

	問1	問2	問3
7			

	問1	問2	問3	問4
8				

	問1	問2	問3	問4
9		条件		

	問1	問2	問3
10			

	問1	問2	問3
11		代理	

	問1	問2	問3
12			

	問1	問2	問3	問4
13			権	

	問1	問2	問3	問4
14		保証人の		権

注：選択問題 　　いずれか1分野を解答すること。2分野を解答した場合は、選択問題すべてを無効とします。

選択問題Ⅰ〔会社に関する法〕

	問1	問2
1		

	問1	問2	問3
2			設立

選択問題Ⅱ〔企業の責任と法〕

	問1	問2	問3
1			

	問1	問2
2		

受験場校		受験番号	
------	--	------	--

総得点	
-----	--

経済活動と法模範解答

(各2点)

()内は別解である。

得点

	問1	問2	問3
1	ア	ウ	イ

	問1		問2
2	文	理	解釈 ウ

	問1	問2
3	ア	イ

14

	問1	問2	問3	問4
4	ウ	イ	ア	ア

	問1	問2	問3
5	イ	ア	ウ

14

	問1			問2	問3	
6	物	権	法	定	主義 ウ	ア

	問1	問2		問3	
7	ウ	特	許	庁	イ

12

	問1	問2	問3	問4
8	イ	ウ	イ	ア

	問1		問2	問3	問4	
9	停	止	条件	ア	ウ	イ

16

	問1	問2	問3
10	ウ	ア	ウ

	問1	問2		問3	
11	イ	表	見	代理	ウ

	問1	問2	問3
12	イ	ア	イ

18

	問1	問2		問3	問4	
13	ウ	抵	当	権	イ	ア

	問1	問2	問3		問4		
14	ウ	イ	保証人の	求	償	権	ア

16

選択問題 I [会社に関する法]

	問1	問2
1	イ	ウ

	問1	問2	問3		
2	ア	イ	募	集	設立

選択問題 II [企業の責任と法]

	問1	問2	問3							
1	ア	ウ	ク	ー	リ	ン	グ	(・)	オ	フ

	問1	問2
2	イ	ア

10

選択問題 I [会社に関する法]・選択問題 II [企業の責任と法]の2分野を解答した場合は、選択問題を0点としてください。

総得点	100
-----	-----